

北アルプス医療センターあづみ病院 消化器内科・外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年5月31日

「大腸前癌病変における糖鎖修飾に関する研究」に大腸癌および前癌病変の病理検体を使用しています。

あづみ病院倫理審査委員会および信州大学医学部倫理審査委員会の審査による承認を得て、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5148
課題名	大腸前癌病変における糖鎖修飾に関する研究
研究機関	臨床検査科 病理
研究責任者	小林則康
研究実施期間	2021年5月31日～2022年3月31日
研究の意義、目的	前癌病変における糖鎖修飾の変化を特定することにより、大腸癌の病因・病理発生の理解を促進し、またこの変化を他の経路の病変との鑑別診断のためのマーカーとして利用する。
対象患者様	2016年～2020年にあづみ病院において大腸ポリープの切除術を受けた方。
利用検体	病理検体(大腸)
利用カルテ情報	診断名、年齢、性別、既往歴
他機関への試料・情報の提供方法	郵送により提供します。
共同研究機関名	信州大学医学部分子病理学教室(責任者: 的場久典)
研究代表者	信州大学医学部分子病理学教室(責任者: 的場久典)

既存の検体と診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報削除し、主任施設である信州大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、下記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

ご自分の診療記録等の利用をお断りになっても、通常の診療などで不利益を受けることはありません。上記の研究期間中であれば、いつでもお断りいただけます。

お問い合わせ先: 信州大学医学部 分子病理学教室 担当者 的場久典 (電話: 0263-37-3395)